

3カ月ぶり近畿いっせい宣伝 雨の中249カ所、1074人で

コロナ禍の下で実施できなかった近畿いっせい宣伝が12日、3カ月ぶりに行われました。あいにくの雨で中止になったところも多くありましたが、249カ所で378支部・後援会、1074人以上が1万1263枚のビラを配布しました。主な反応を紹介します。

＜大阪＞「2回目の住民投票、絶対反対」

◇森ノ宮駅 スタンディングし、「『都』構想中止！コロナ対策に集中を！」請願書名を呼びかけ。「大阪市解体する住民投票をしている場合でない」などと手書きした垂れ幕やプラスターは通行人も注目。ある女性は「維新の市長になってから住民サービスが悪くなった。『都』構想は絶対反対」と対話に。

◇東大阪 永和駅で「平野区に住んでいるが、2回目の住民投票は絶対反対」と。

◇河南地区 松原駅ではビラ受け取り良く、松原の3駅で100枚配布。

◇堺地区 日曜版見本紙44部活用。「がんばって」の声もかかった。

＜兵庫＞「赤旗の情報正確」と足止める人が2人

◇姫路駅で、森由紀子市議らが宣伝。「赤旗は正確な情報を伝えているから」と言って、足を止めてビラを受け取る人が2人いた。

＜京都＞若い世代の反応よかった

◇左京区 雨のために短時間の宣伝になったところがあったが、政府の支援事業が電通などの食い物にされている問題などを訴えた。若い世代の反応が以前より良い。洛北交差点で、西山ときこさん（元参院議員）と3人の支部員が宣伝。通学が始まったので「子どもたちに20人学級プレゼントを」の訴えがぴったり。

＜滋賀＞「志位さん好き。応援している」の声も



◇JR守山駅では佐藤こうへい衆院3区候補、小牧、藤原両守山市議、阿部湖南地区副委員長らが宣伝。佐藤候補は党の「感染抑止と経済・社会活動の再開を一体にすすめるための提言」を紹介。「医療崩壊を起こさせない。病院や地域医療を守り、医療従事者の雇用・生活を守る財政支援を」訴え。「近畿民報」の写真を見た男性は「志位さんが好きだ。応援している」と。

・安土駅 通勤客は先月より増えて、ビラの受け取りもよかった。

＜奈良＞「ビラ2枚ほしい」反応よし

◇近鉄奈良駅 握手やビラ2枚ほしいなど、反応よかった。

◇JR法隆寺駅では雨天について、宮本次郎衆院2区候補が、木澤正雄斑鳩町議といっしょに宣伝。新型コロナ第2波に備え、医療・検査体制に充実、学校再開で子どもたちの心のケア、20人学級の実現など、「党の提言」を紹介。

＜和歌山＞コロナ対策充実訴え

◇JR和歌山駅前で、雇用調整金の申請簡素化、敏速な支給を、PCR検査体制の抜本的強化、学校再開で子どもたちの心のケア、柔軟な教育、20人学級実現などを訴え。



大阪市西淀川区・出来島駅前では北山良三前市議らと訴える宮本岳志前衆院議員（12日夕）

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 35(2020.6.15)